

令和4年度 若狭の海湖山から「体験の風をおこそう」運動推進事業
「わくわく体験塾」R4.9.23(金)～25(日)

◆目的

若狭地域の歴史・文化にふれ、すばらしさに気づく。
大自然での体験を通して、自然の偉大さを学ぶ。
仲間との交流を通して、友情を育み、多くの思い出を作る。

◆参加実績

参加 23名

①地域別

愛知県	1名
京都府	2名
岐阜県	2名
滋賀県	3名
坂井市	1名
勝山市	2名
福井市	2名
鯖江市	1名
池田町	1名
敦賀市	4名
小浜市	2名
おおい町	1名
高浜町	1名

②年齢別

小学4年生	5名
小学5年生	6名
小学6年生	6名
中学1年生	3名
中学2年生	3名



◆プログラム<2泊3日>

【1日目】

園芸 LABO の丘・・・開校式、野菜の収穫体験
年縞博物館・・・見学、シアター
縄文博物館・・・見学、火おこし体験
三方青年の家・・・野外炊事(カレーライス)、宿泊

【2日目】

里山海湖研究所・・・三方湖畔野鳥観察
海浜自然センター・・・海釣り体験、見学、シアター
若狭湾青少年自然の家・・・シーカヤック活動、
キャンプファイヤー、宿泊

【3日目】

若狭歴史博物館・・・特別公開の見学、弓矢体験、クイズラリー



◆成果

- 参加者アンケートでは、「やったことがなかったのでわくわくした。」「いろいろな歴史があり楽しかった」「もっと歴史にふれてみたい」「新しい友達もでき、たくさんの思い出もできた。」「友達がたくさんできて良かった」「来年も来たい」など、7つの施設の活動に満足した(満足度100%)という回答が得られ、若狭の歴史文化にふれ、すばらしさに気づくと共に、仲間との交流を通して友情を育むというねらいが達成できた。
- 参加者に検温等のコロナ感染拡大防止対策に取り組んでもらうことで、安全に活動することができた。

◆参加者の声

- 水だけであそこまで育てていたことにびっくりした。あんなに大きいの（トマト）はお世話をがんばっているからだろう。
- 三方五湖にあんなすごい地層があるなんて知らなかった。福井県はすごいと改めて思った。もっと時間が欲しい。じっくりみたかった。
- 縄文人のことは学校でも習ったけれど、知らないこともあってよかった。
- キャンプファイヤーが一番心に残っています。自分でできることたくさんあることがわかりました。
- 宿泊体験の中で一番楽しかった。野菜を切ったり洗ったり、味見したりいろいろ！
- 館の見学は、魚とのふれあいが楽しかった。最後に釣れてうれしかったです。
- カヤックは慣れるとめっちゃ楽しかった。波に揺られて気持ちよかった。キャンプファイヤー楽しかった！
- 特別に仏像だけを展示しているのが興味深く、良かった。弓矢を使って射たりゲームをしたりして楽しかった。



◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 8つの施設の特徴を生かし、歴史・文化・自然について学ぶために、その施設でしか体験できない活動を計画した。
- 事務局主導で、各施設での新型コロナ感染拡大防止対策を確認し、参加人数、活動形態、対応などについて協議し、安全対策を施すことができた。
- 各施設の担当者が責任を持って担当できるよう、活動内容ごとに主担当を変えながら体験活動を提供したことで、他施設の担当者はサポートに回ることで、安全面に配慮した充実した活動となった。
- 今後は、さらに施設間の活動につながりを持たせ、ストーリー性を高めていけると良い。
- ボランティアが参加者の身の回りの指導や活動補助の役割をしっかりと果たしてくれていた。安全面の配慮や活動内容の充実を考えると、来年度以降もボランティアの確保は必須である。
- 参加施設が増えたため、十分な時間を確保できない施設もあった。初日の集合時間を早めるなどして対応していけると良い。
- 家庭の日（第3日曜日）や、他のイベントなども考慮し、開催時期を検討していく必要がある。

